

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376200149
事業所名	グループホーム JO・さざんか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 利用者・管理者・職員全てが地域出身者であり、自然体で地域に溶け込んでいる。 八百屋の移動販売・多くのボランティアの来訪、小・中学生の職場体験、散歩途中の挨拶、近所の方々よりの野菜のお届け等がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 隔月に、隣接の『さざんか第2』と合同で運営推進会議を開き、地域包括支援センター職員・区長・民生委員・病院関係者・特養職員・家族・ホーム職員等、幅広い参加者がある。 自己紹介で食べたい物・行きたい処等も紹介し、場が和むように工夫している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に地域包括支援センターの職員の出席、介護相談員の受け入れ等があり、ホームの状況は行政に理解されている。 管理者は市・社会福祉協議会の評議員も努め、行政との連携は図られている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 管理者は、家族の訪問時に直接意見を聴き、ホーム運営に反映させている。 家族アンケート回答者全員が自由記述欄にコメントを寄せている事からも、家族との話し易い関係が構築されている事が分かる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				